

「観光に関するアンケート調査」

結果報告書

～アンテナショップでの調査～

2020年2月

奈良商工会議所

調査の概要

1. 調査内容

平成30年の奈良市の観光客数は1,702.5万人と、前年に比べて4.4%の増加となった。特に外国人観光客は265.1万人と過去最高を更新している。一方、宿泊客数は173.8万人と、前年に比べて3.8%減少している。こうした状況を踏まえ、奈良観光と宿泊施設に関するアンケート調査を実施し、宿泊客数の増加に向けた課題や対応策のヒントを探ることとした。

奈良県のアンテナショップである「奈良まほろば館」（東京都中央区日本橋）への来場者が、奈良観光や宿泊施設に対してどのような認識や意見を持っているかについて調査を実施した。

2. 調査方法

来場者に対し調査票をもとに、インタビュー形式で聞き取りを行った。

3. 調査の時期・回収サンプル数

2019年11月に実施し、100件を回収した。

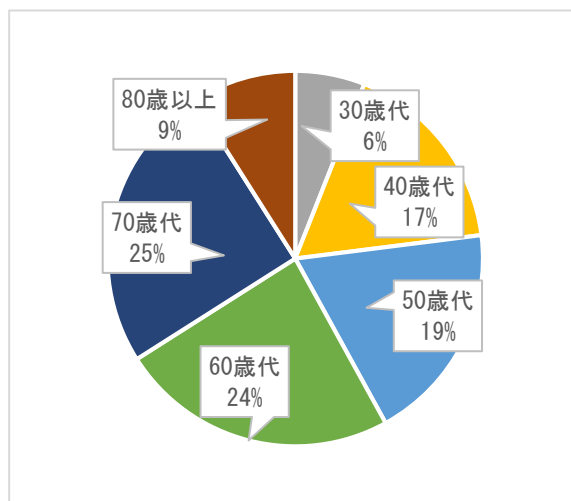
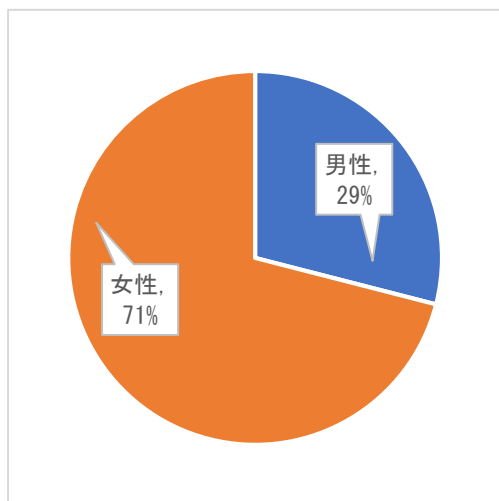
回答者の属性

1. 性別

「女性」（71%）の割合が「男性」（29%）に比べて高い。

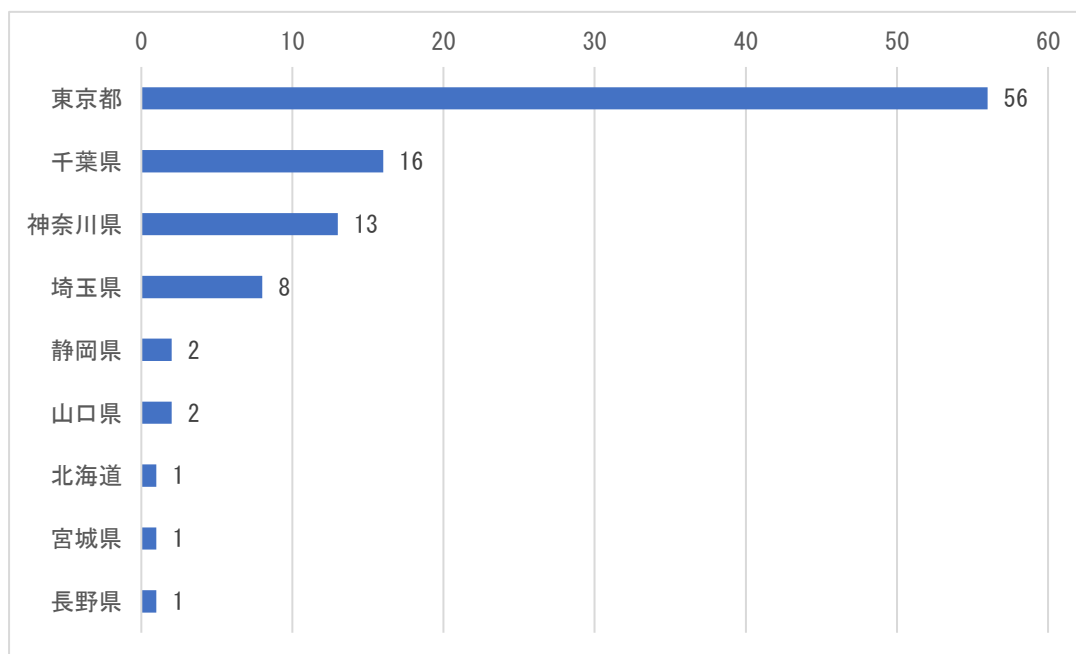
2. 年代別

「70歳代」（25%）、「60歳代」（24%）が多く、「50歳代」（19%）、「40歳代」（17%）と続き、40歳以上の中高年で85%を占めている。



3. 住まい

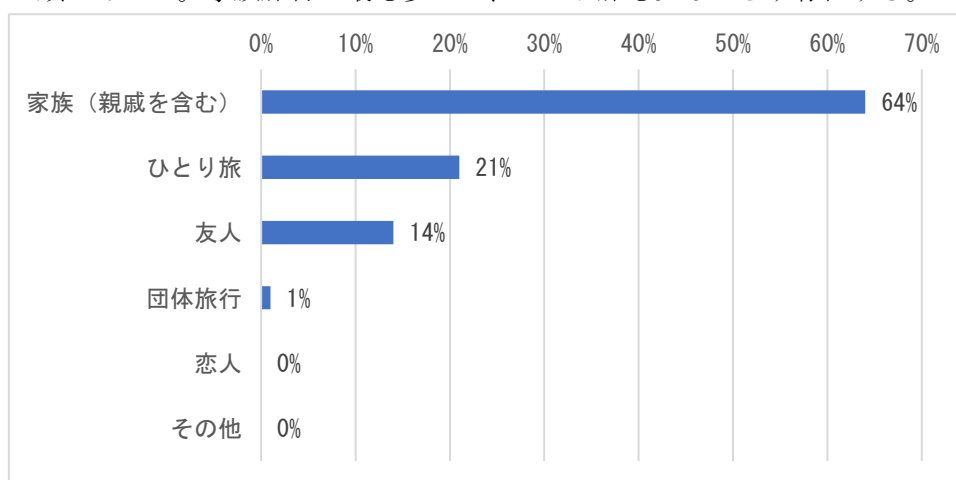
来場者の住まいは、東京都（56人）、千葉県（16人）、神奈川県（13人）、埼玉県（8人）、静岡県（2人）、山口県（2人）、北海道（1人）、宮城県（1人）、長野県（1人）の順であった。



旅行一般に関する調査結果

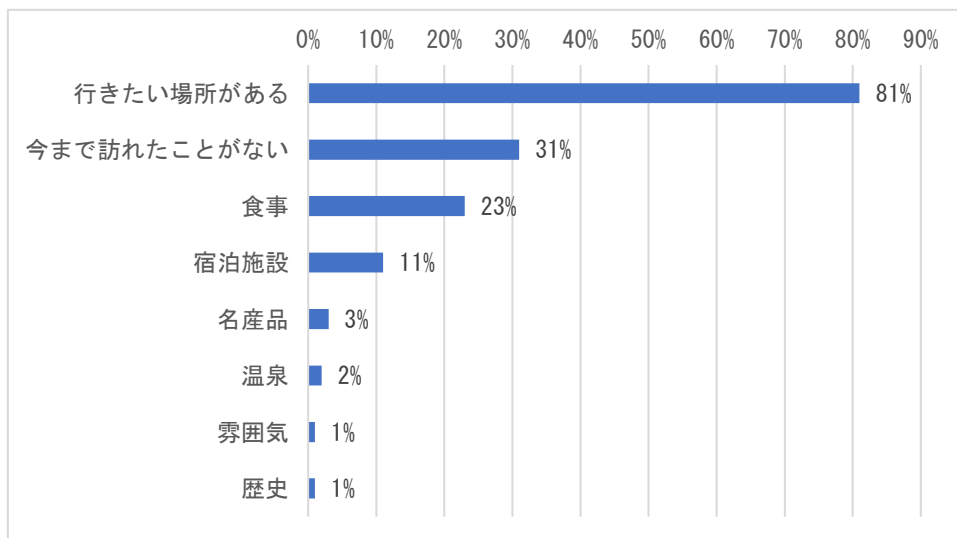
1. 普段旅行する際、最も多い同行者

「家族（親族を含む）」（64%）、「ひとり旅」（21%）、「友人」（14%）、団体旅行（1%）の順であった。家族旅行が最も多いが、ひとり旅も少なからず存在する。



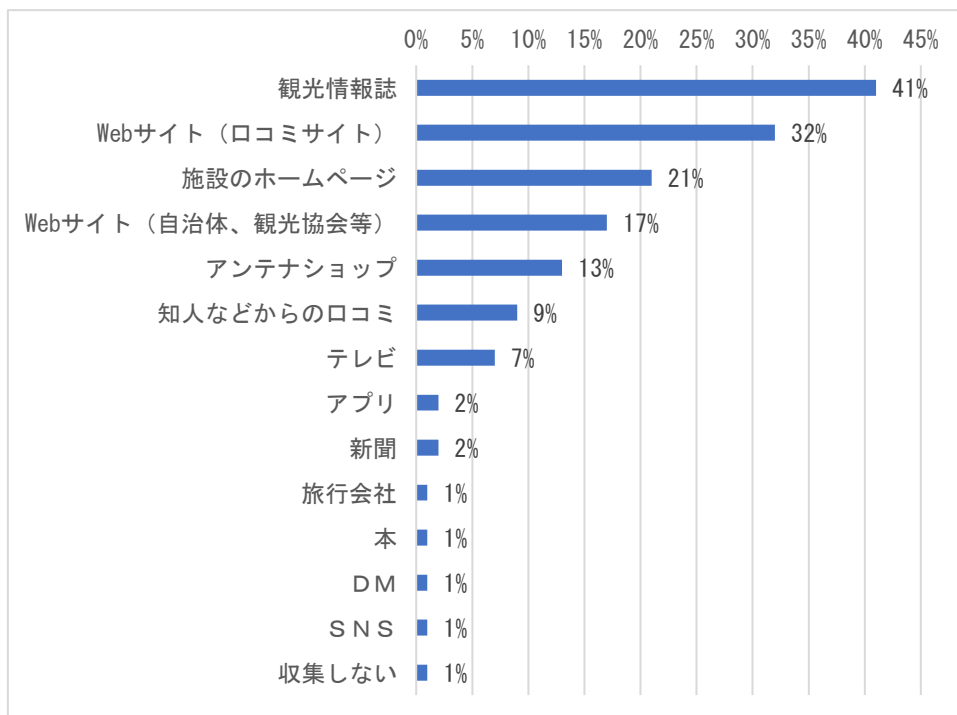
2. 旅先を決定する時のポイント（複数回答）

「行きたい場所がある」（81%）、「訪れたことがない」（31%）、「食事」（23%）、「宿泊施設」（11%）の順であった。目的を持って旅行する人が多いことがわかる。



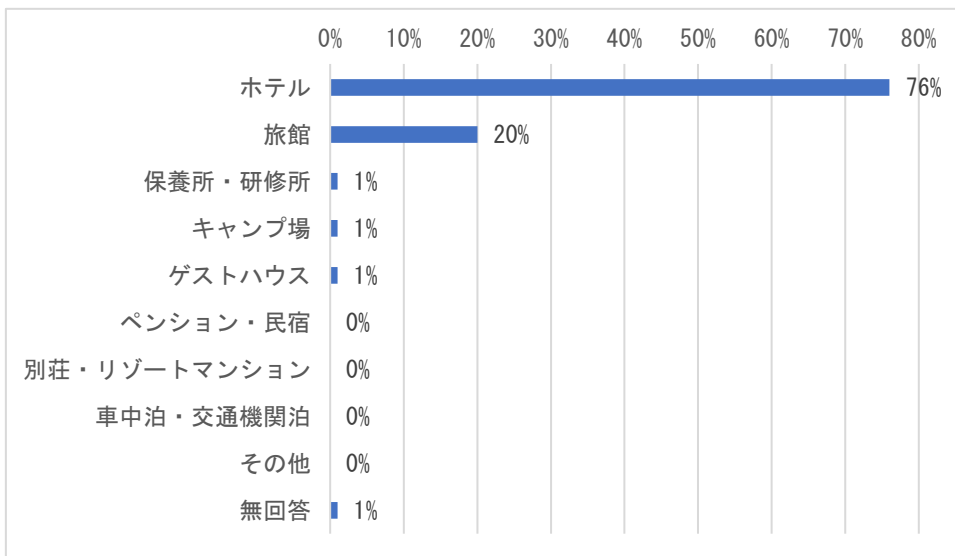
3. 観光情報の入手元（複数回答）

「観光情報誌」（41%）、「Webサイト（口コミサイト）」（32%）、「施設のホームページ」（21%）、「Webサイト（自治体、観光協会等）」の順であった。観光情報誌が最も多いが、次いでWeb系メディア続いており、紙媒体とネットの連携の重要性がうかがえる。



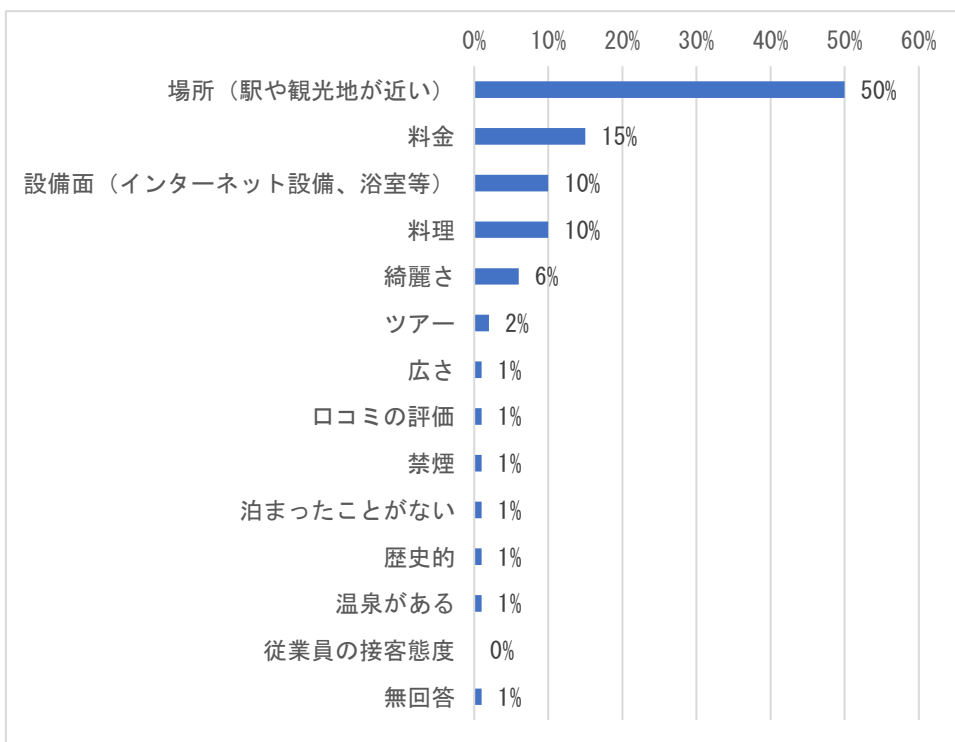
4. 選択する宿泊施設の種類

「ホテル」(76%)、「旅館」(20%)、「保養所・研修所」(1%)、「キャンプ場」(1%)、「ゲストハウス」(1%)の順であった。



5. 宿泊先を選ぶ時に重視する点（複数回答）

上位4項目は、「場所（駅や観光地が近い）」(50%)、「料金」(15%)、「設備（インターネット設備、浴室等）」(10%)、「料理」(10%)であった。場所と料金は変更が困難なことから、設備、料理、綺麗さなどで差別化を図ることが重要と思われる。

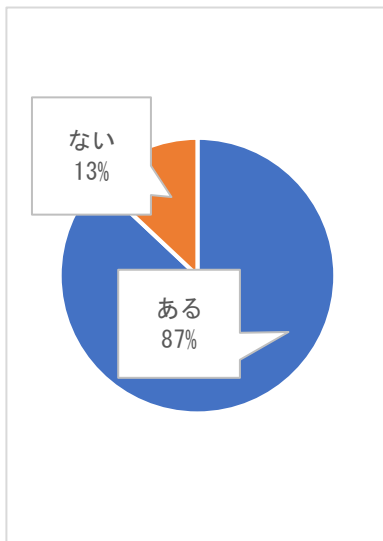


奈良観光・宿泊に関する調査結果

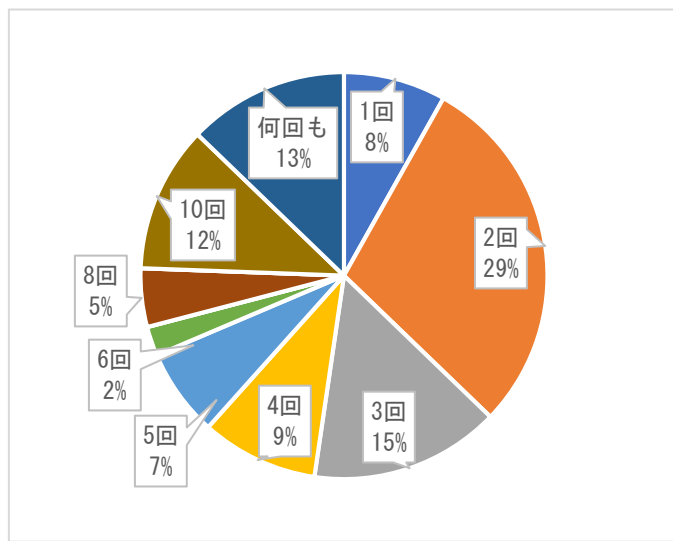
1. 奈良を訪れた経験

奈良を訪れたことがあるかを尋ねたところ、「ある」(87%)、「ない」(13%)であった。

また、過去に奈良を訪れた回数を尋ねたところ、「2回」(29%)、「3回」(15%)、「何回も」(13%)、「何回も」(13%)、「10回」(12%)の順で、多くの人が何度も訪れていることがわかる。



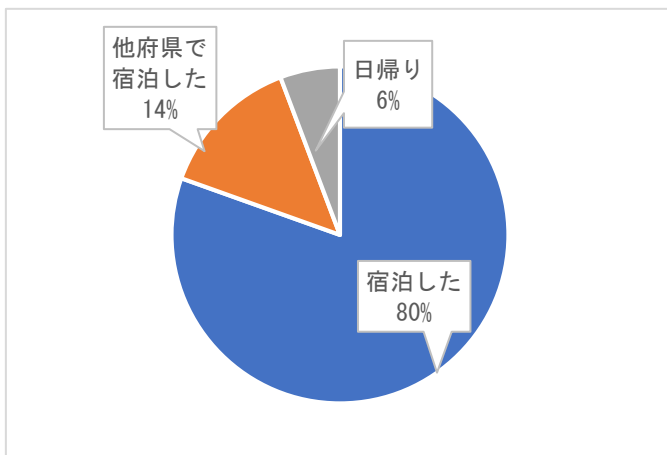
訪れた経験



過去に訪れた回数

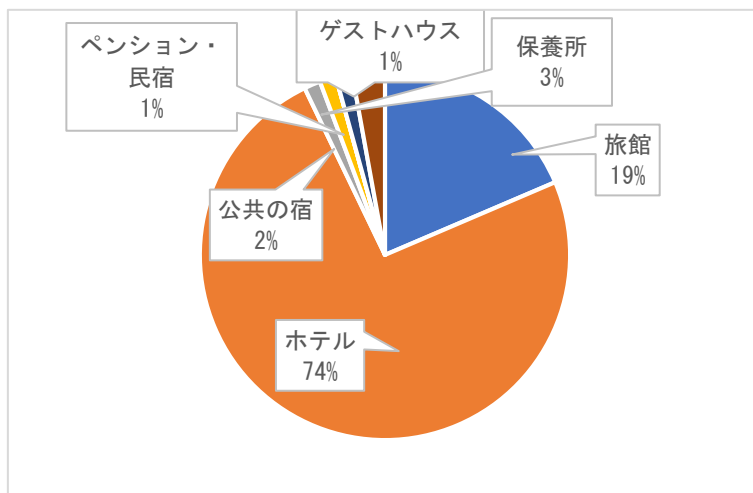
2. 奈良で宿泊した経験

奈良を訪れたことがある人に対して、奈良に宿泊した経験の有無を尋ねたところ、「宿泊した」(80%)、「他府県で宿泊した」(14%)、「日帰り」(6%)であった。



3. 利用された宿泊施設の種類

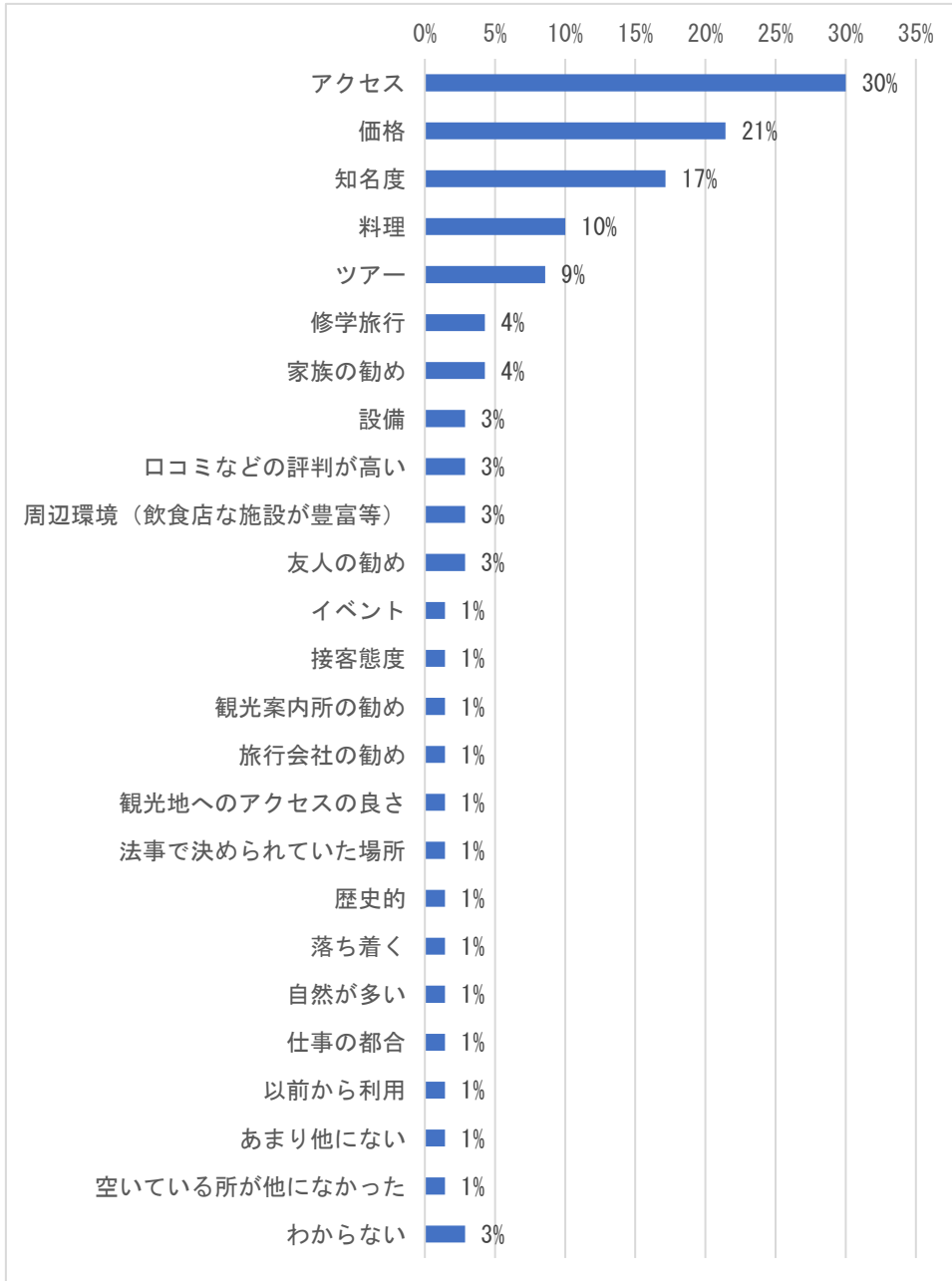
奈良で宿泊したことがある人（70人）に対して、宿泊した施設の種類を尋ねたところ、「ホテル」（74%）、「旅館」（19%）の順であった。



なお、利用された宿泊施設名を尋ねると、70人中32人は「覚えていない」と回答した。宿泊施設の印象が薄い可能性が考えられ、リピーターを増やすためにも印象に残るような取り組みやイベントを検討していく必要がある。

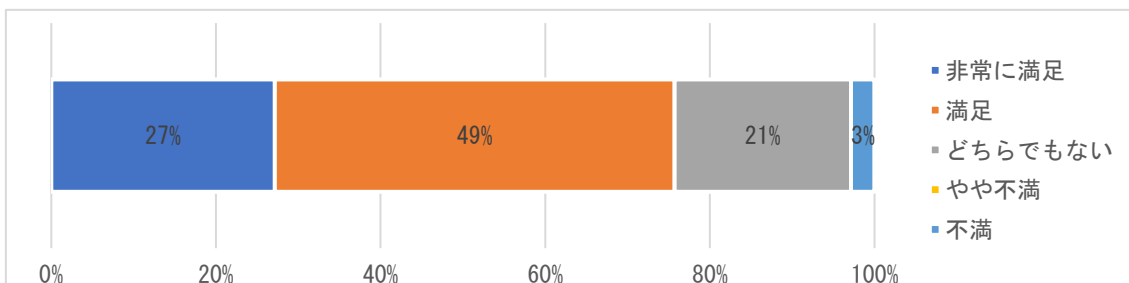
4. その宿泊施設を利用した決め手（複数回答）

奈良で宿泊したことがある人（70人）に対して、その宿泊施設を利用した決め手を尋ねたところ、上位5項目は、「アクセス」（30%）、「価格」（21%）、「知名度」（17%）、「料理」（10%）、「ツアー」（9%）であった。多くの人が立地と価格を中心に選択しているが、その他に多くの決め手があることがわかる。

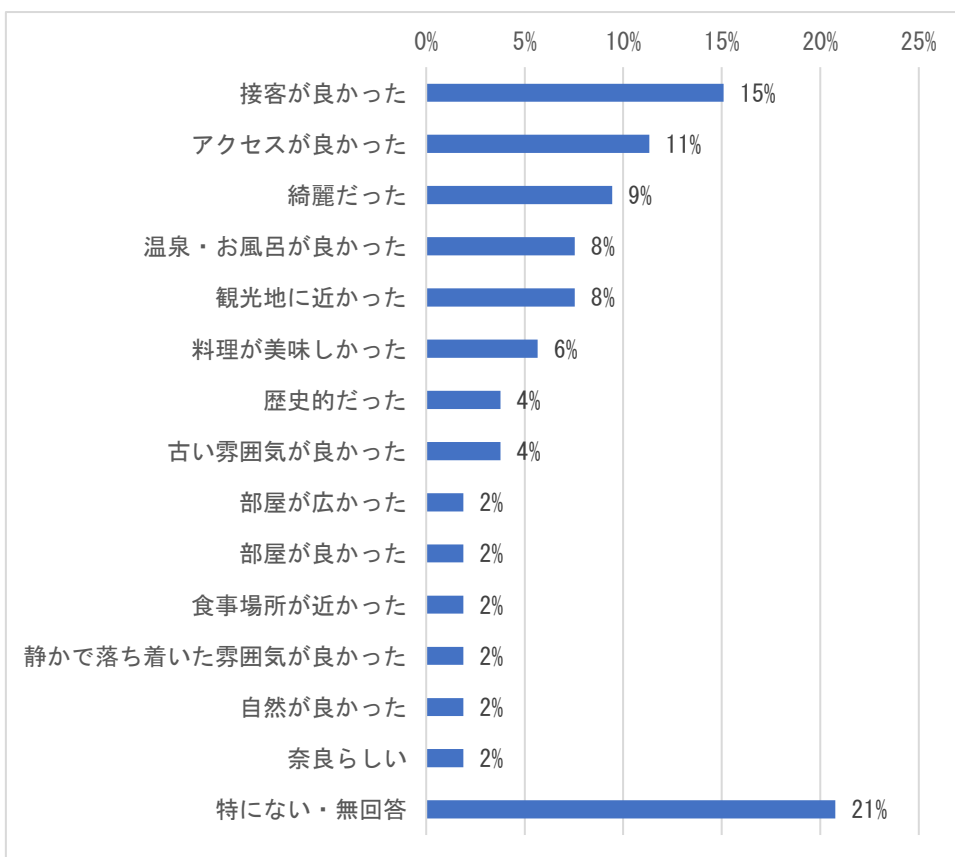


5. その宿泊施設の満足度

奈良で宿泊したことがある人（70人）に対して、その宿泊施設の満足度を尋ねたところ、「非常に満足」（27%）、「満足」（49%）、「どちらでもない」（21%）、「不満」（3%）であった。多くの人が満足しているが、不満を持たれた人も存在する。



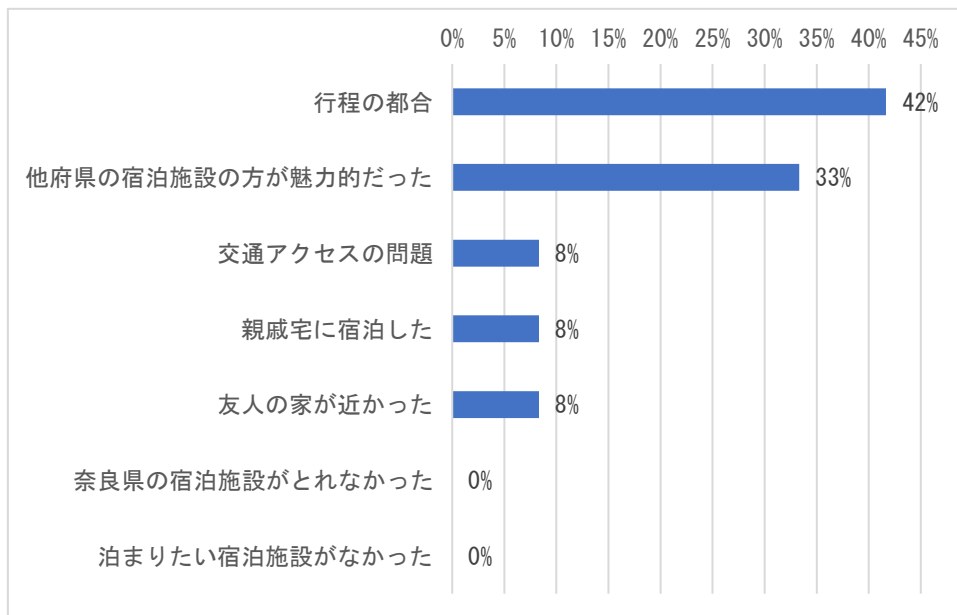
「非常に満足」、「満足」を選んだ人（53人）にその理由を尋ねると、上位5項目は、「接客が良かった」（15%）、「アクセスが良かった」（11%）、「綺麗だった」（3%）、「温泉・お風呂が良かった」（8%）、「観光地に近かった」（8%）であった。



一方で、「不満」と答えた人（2人）に理由を尋ねたところ、「接客が悪かった」、「お風呂が小さかった」、「古い」という回答であった。

6. 奈良県で宿泊しなかった理由

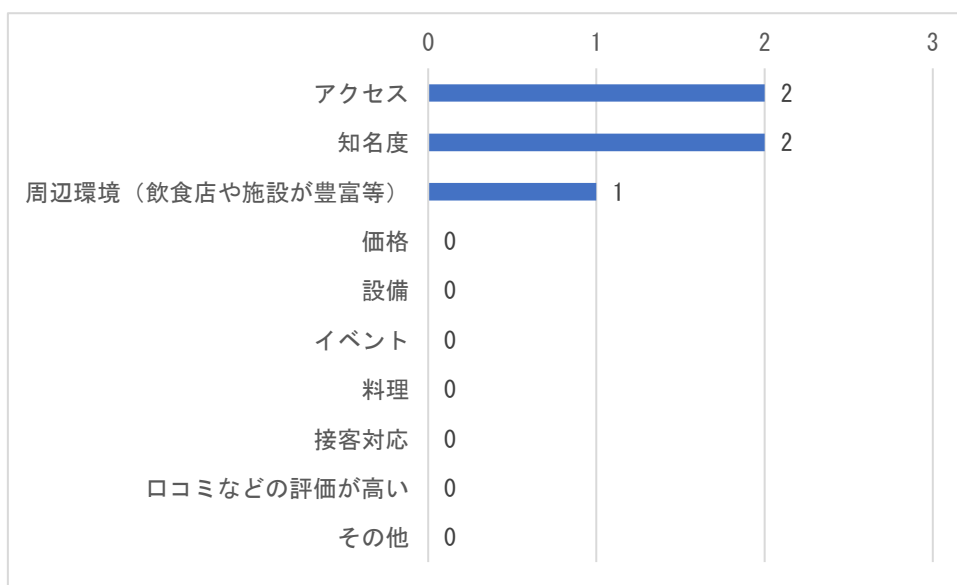
奈良県を訪れ、他府県で宿泊された人（12人）に対して、その理由を尋ねたところ、「行程の都合」（42%）、「他府県の宿泊施設の方が魅力的だった」（33%）の順であった。



「他府県の宿泊施設の方が魅力的だった」と答えた人（4人）はすべて「大阪」が魅力的だったと回答した。

7. 他府県が魅力的だった理由（複数回答）

「他府県の宿泊施設の方が魅力的だった」と答えた人（4人）に、どこが魅力的だったかを尋ねると、「アクセス」（2人）、「知名度」（1人）、「周辺環境（飲食店や施設が豊富等）」（1人）であった。



総括

東京都内にある「奈良まほろば館」に来館された主として首都圏にお住まいの方へのアンケートであったが、奈良に旅行に行かれた時のことを思い出して回答していただいている。

観光地としての奈良には多くの方が魅力を感じておられるが、奈良を訪れる際の宿泊施設は、多くの方がアクセスと価格で決めているようである。また、宿泊した施設の名称を覚えていない人が多く、アクセスと価格以外に旅行者の心をつかみ、印象に残るような工夫が必要と思われる。宿泊した施設に満足した理由として、「接客」、「綺麗」、「温泉・お風呂」、「料理」、「雰囲気」、「自然」、「奈良らしい」など多くの回答が寄せられているが、こうしたキーワードがヒントになる可能性がある。